承認番号　SJ（　　　　　）　KH（　　　　　）

A4両面印刷すること

**2020年度　実験・調査実施および研究倫理審査申請書** (2020年4月1日版)

１）申込者　氏名（　　　　　　　　）学籍番号（　　　　　　　　）　（　　　）ゼミ・クラス

　　連絡先（携帯番号　　　　　　　　　）（e-mail　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

　　　※グループの場合全員の氏名と連絡先を書くこと。欄が不足する場合、適当に追加すること。

２）実験・調査のタイトル（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

３）実験・調査の概要　　　所要時間（　　）分程度

実験参加点や図書カード等の謝礼【 なし・あり → 参加点・図書カード　　　円分・その他（　　　　　）】

４）希望する実施方法（以下のうち一つに☑を付けること）

□実験室で実験

□実験室で質問紙調査　　　実験・調査の実施場所（京田辺 SJ・KH　　　　　番実験室 / 今出川　　　番実験室）

□教室で質問紙調査（ 当日回収 / 後日回収 ）　　　□その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

　※**実験室や機器等の利用に際しては必ず指導教員と相談の上、事前に実習助手に確認すること。**

５）必要な実験参加者・被調査者の概数 （　　　）名　実験参加者選択の条件（　　　　　　　　　　　）

６）実験・調査の予定日　開始 20　　年　　月　　日　終了 20　　年　　月　　日

７）募集方法　□Dシステム　　□模造紙　　□その他（　　　　　　　　　　　　）

募集クラス（複数のクラスで募集する場合は、欄を適当に追加して記入すること。）

　　　20　　年　　月　　日　科目名（　　　　　　　　　　）　担当者名（　　　　）先生

　　　20　　年　　月　　日　科目名（　　　　　　　　　　）　担当者名（　　　　）先生

**※基本的に実験募集は心理学部の専任教員の科目で行う。嘱託教員の科目で募集をしたい場合は、指導教員および実習助手に必ず相談すること。**

８）指導教員の署名または捺印（２ページ目下欄）

**※ここまでの１)～７)および、2ページ目の研究倫理チェックリストに記入した上で、指導教員の署名または捺印を2ページ目下欄にもらうこと。その上で、審査委員教員の署名または捺印をもらうこと。その際には、調査用紙や教示内容を説明する文書を持参すること。2名のサインがそろった段階で、実習助手に本紙および調査用紙や教示内容を説明する文書を提出すること。**

９）申込用紙の実習助手受付　20　　年　　月　　日　実習助手の署名または捺印（　　　　　）

10）謝礼および参加者の報告

私は、実習助手より謝礼および参加者の報告方法の説明を受けました。（以下のaからcの該当する記号にすべてに○をつける）

a.（図書カード・QUOカードの場合）謝礼の受け渡しを証明する受領書を実験当日中に実習助手へ提出する。

b.（参加点の場合）実験・調査終了後１週間以内に、本申請書を提出した実験準備室で参加点入力用のUSBを受け取る。実習助手の指示に従い参加点入力を行い、１週間以内にUSBを返却する。

受取締切：　　　月　　　日

c.（実験室で実験・調査を実施する場合）実験参加者の来室予定表を実験準備室に提出する。フォーマットは自由だが、実験の日付・時間帯・実験参加者の学籍番号もしくは氏名が分かるようにする。また、用紙の右上に実験者全員の氏名、実験室番号、実験タイトルを記載すること。

署名（　　　　　　　　　　）

12）謝礼および参加者の報告の実習助手の受付　20　　年　　月　　日　実習助手の署名または捺印（　　　　　）

**※実習助手は、10）の署名後、コピーを３部作成し、申請者に渡す。申請者は、１部を自分で保管し、１部は参加者募集までに指導教員に渡し、残り１部は募集時に募集クラス担当教員に渡すこと。**

承認番号　SJ（　　　　　）KH（　　　　　）

研究倫理チェックリスト

1. (社)日本心理学会倫理規程第１章および第２章を読み、内容を理解しましたか

　　［ はい　・　いいえ　］

2. 実験や調査に先立ち研究参加者からインフォームドコンセントを得ますか（インフォームドコンセントには，実験や調査の内容についての説明や，実験や調査から自由に離脱できる旨が記されているものとします。承諾のサインを得ることが望ましい。）

　　［ 該当せず　・　はい　・　いいえ　］

3. やむを得ずインフォームドコンセントが得られない場合は，代替となる手段をとりますか（親や責任者による承諾を得るなど）

　　［ 該当せず　・　はい　・　いいえ　］

4. 実験や調査においては，参加者に負荷やリスクはありますか

　　［ 該当せず　・　ある　・　ない　］

　　負荷やリスクがあった場合は，その内容や，どのような対処・処置を行うのか，具体的に書いてください。

　　　　［負荷やリスクの内容： ］

　　　　［対処や処置： ］

5. 実験や調査にデセプションがある場合，事後説明などによる対処を行いますか

　　［ 該当せず　・　はい　・　いいえ　］

6. プライバシーは保障されていますか（データ収集や処理，論文に紹介する際の匿名性の保障など）

　　［ 該当せず　・　はい　・　いいえ　］

7. 不適切あるいは差別的な用語や表現がないかチェックしましたか

　　［ はい　・　いいえ　］

8. 上記以外に、本研究計画に倫理上の問題となりうる要素があれば記載し、それにどう対処するのかを説明して下さい。

本研究計画は(社)日本心理学会の倫理規程に沿うものと判断します。

指導教員 署名　20　　年　 月　 日（　　　　　　　　　　　 ）

審査委員 署名　20　　年　 月　　日（　　　　　　　　　　　 ）